

2014年10月2日

豊田通商株式会社
大和ハウス工業株式会社
日本土地建物株式会社
オリックス株式会社
名鉄不動産株式会社

ささしまライブ 24 地区内複合施設「グローバルゲート」の起工式を実施

豊田通商株式会社(代表企業、本社：名古屋市、社長：加留部 淳、以下豊田通商)、大和ハウス工業株式会社(本社：大阪市、社長：大野 直竹、以下大和ハウス)、日本土地建物株式会社(本社：東京都千代田区、社長：吉田 卓郎、以下日本土地建物)、オリックス株式会社(本社：東京都港区、社長：井上 亮、以下オリックス)、名鉄不動産株式会社(本社：名古屋市、社長：福嶋 敏雄、以下名鉄不動産)は、本日、ささしまライブ 24 地区内で「グローバルゲート (以下本事業)」の起工式を執り行いましたのでお知らせします。

式典には、関係 5 社の代表者等が出席し工事の無事を祈願しました。

本事業は、名古屋市が実施した「名古屋市ささしまライブ 24 地区開発提案競技」において、2008 年 1 月に最優秀提案として選定されたもので、官民共同で推進中のささしまライブ 24 地区の中核施設に位置づけられています。

同地区のコンセプトである「国際歓迎・交流拠点」の形成や「賑わいのあるまちづくり」を実現するために、コンファレンス機能をもった質の高いホテルやオフィス、商業施設などを整備するとともに、地域環境や都市防災に配慮した開発を行い、社会的使命を果たすことを目的としており、都市再生特別地区、民間都市再生事業計画、住宅・建築物省 CO2 推進事業の適用を受けています。

イーストタワー棟(地上 17 階建)は大和ハウス工業株式会社の名古屋支社を始めとした、大和ハウスグループの名古屋地区の新しい拠点となります。グループ会社を集約することで、連携を強化し、グループシナジーを創出していきます。

本事業は、2017 年 3 月 竣工、同年 10 月の開業を見込んでおり、事業主体は、上記 5 社が組成する「ささしまライブ 24 特定目的会社」が担います。

【計画の概要】

- ・ 名 称 : グローバルゲート
- ・ 事業主体 : ささしまライブ 24 特定目的会社
- ・ 所在地 : 名古屋都市計画事業ささしまライブ 24 土地区画整理事業区域内
(名古屋市中村区平池町 4 丁目)
- ・ 敷地面積 : 約 17,267 m² (約 5,223 坪)
- ・ 延床面積 : 約 157,000 m² (約 47,493 坪)
- ・ 事業主体 : ささしまライブ 24 特定目的会社
- ・ 施設用途 : 事務所、ホテル、コンファレンスセンター、商業施設、駐車場
- ・ 階数 / 高さ : ウエストタワー棟 地上 36 階・地下 2 階・塔屋 2 階 / 約 170m
イーストタワー棟 地上 17 階、地下 2 階、塔屋 2 階 / 約 90m
低層棟 地上 4 階、地下 2 階 / 約 30m
- ・ 構造 : SRC 造、RC 造、S 造
- ・ 駐車台数 : 643 台

【施設計画の特徴】

■ 機能性の高いオフィス仕様

- ・ 多様なビジネスニーズに応える高機能で快適なオフィスを 6 階～29 階に整備します。
(オフィス貸床総面積約 12,400 坪。天井高 2,800mm。0A フロア 100mm)
- ・ オフィスフロアは、基準階専有面積 520 坪超の無柱空間でありながら、小規模分割(約 30 坪)にも対応し、自由で効率的なレイアウトが実現できます。
- ・ 窓際の熱処理と日射制御機能を備えた PC プラスターの採用により、空調負荷を低減し、居住性の高い執務空間となっております。
- ・ オフィスフロアからは、名古屋駅エリアの高層ビル群や都市公園、中川運河の水景や親水空間など、ささしまライブ 24 地区ならではの眺めが広がります。
- ・ 5 階には、クリニックや共用ラウンジなどオフィスワーカー支援施設を整備する予定です。
- ・ 建築環境総合性能評価システム CASBEE 名古屋において、最高ランク S ランクの性能を計画しています。

■ 耐震性能・BCP 対策

- ・ 波形鋼板耐震壁+粘弾性ダンパーによる制震システム、高強度のコンクリートを使用した CFT 柱を採用し、今後懸念される東海・東南海・南海地震に対しても、最高クラス(Sグレード)の安全性を確保しています。この制震システムは、強風時の居住性を確保し、長周期地震動の後揺れに対しても効果を発揮します。
- ・ TOFT 工法(格子状地盤改良)を採用し、液状化の防止と基礎の安全化を高めています。
- ・ 電力引込は、本線、予備線の二回線受電により、信頼性向上を図っています。

【ご参考】



起工式の模様



グローバルゲート 完成予想図